郡上農林事務所の普及活動状況　令和８年 10 月 31 日現在

多様な主体の参画促進

■女性農業経営アドバイザー　中濃ブロック研修会を開催



【ゆず加工場視察の様子】

10 月６日、武儀地区、郡上地区および可茂地区の女性農業経営アドバイザーが合同で中濃ブロック研修会を開催した。

研修会では、平成しいたけ農園および株式会社かみのほゆずの２カ所を訪問した。平成しいたけ農園では、しいたけ栽培について説明を受けた後、しいたけ狩りを体験した。株式会社かみのほゆずでは、会社概要やゆずの栽培から加工までの流れについて説明を受けた後、実際にゆずの加工場を視察した。これらの視察や体験を通じて、参加者は理解を深めるとともに、女性農業経営アドバイザー相互の交流を図ることができた。

農業普及課では、これからも地域のリーダーとして活躍する女性農業経営アドバイザーの活動を支援していく。

新たな担い手の確保

■郡上トマトの学校　ミーティングによる意見交換



【ミーティング風景】

郡上トマトの学校では、令和８年度から新たに１名の研修生が２カ年の研修を開始している。研修生は４月の入校以来、現地ほ場において栽培管理の実践や生育観察を行った。また、各生育ステージに応じた栽培管理技術の習得に向けて、月２～３回のペースで指導員との室内ミーティングを重ねている。

10 月 14 日には、トマトの学校研修管理棟において、これまでの研修成果を振り返るとともに、次年度の研修計画について協議を行った。９月までの共販出荷実績を確認した結果、研修１年目は計画どおりの栽培管理を実践できたことに加え、計画を上回る収量を確保することができた。協議では、好成績につながった要因について意見交換を行い、今後の栽培管理に活かすための整理を行った。また、次年度に向けては、さらなる収量向上を目指し、生育初期のかん水方法や摘果、追肥量などの管理技術について改善点を検討した。あわせて、就農後に必要となる技術や知識の習得に向け、研修内容の充実についても意見交換を行った。

農業普及課では、栽培終了後に研修生とともに今年度の研修成果を確認するとともに、12 月から作成を開始する就農後の収支計画について助言・指導を行い、円滑な就農に向けた支援を進めていく。